

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒のプランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

赤潮プランクトン調査の結果、魚類に対して被害のあるコクロディニウム・ポリクリコイデス（香川県の場合：注意報 100 細胞/ml、警報 1,000 細胞/ml）が最大で 0.068 細胞/ml と非常に低密度ながら確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム・カテナータム及びアレキサンドリウム属が最大で 0.827 及び 0.098 細胞/ml 確認されました。

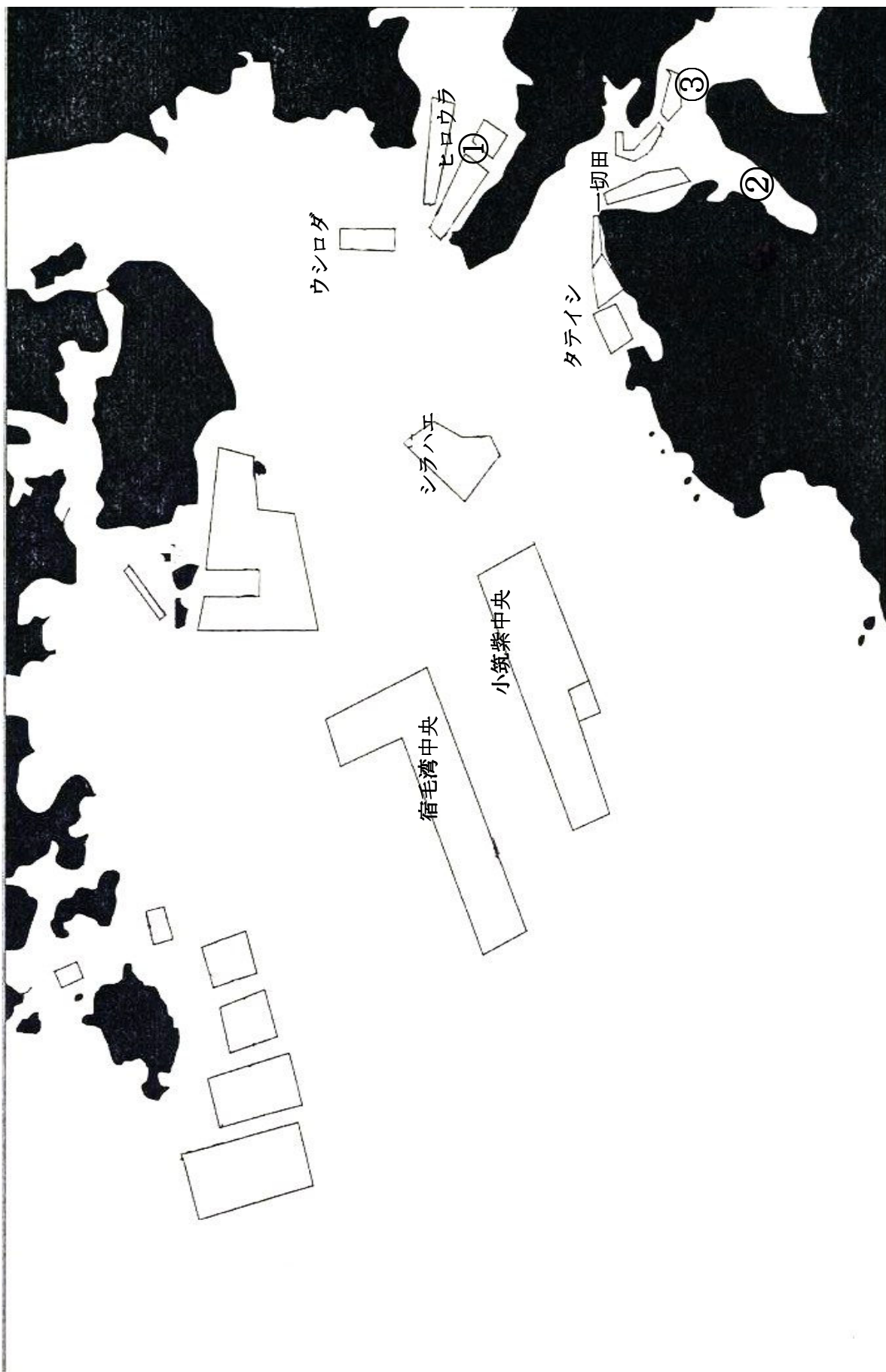
今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※（海水1ℓを1000倍に濃縮してプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (9:00~10:30) 採集地点	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス *1	ギムノディニウム・ カテナータム *2	アレキサンドリウム属 *2
ヒロウラ 下図① 透明度 15.0m	0	13.4	31.4	7.64	0.000	0.003	0.000
	5	17.4	34.2	6.87	0.016	0.062	0.016
	10	17.5	34.1	6.86	0.018	0.271	0.098
栄喜湾内 下図② 透明度 10.5m	0	15.8	32.9	6.93	0.000	0.022	0.000
	5	17.1	34.0	6.65	0.006	0.827	0.000
	10	17.3	34.0	6.61	0.014	0.311	0.018
青瀬山 下図③ 透明度 9.0m	0	15.3	31.5	7.21	0.000	0.002	0.013
	5	17.0	34.2	6.79	0.019	0.520	0.049
	10	17.3	34.0	6.67	0.068	0.443	0.005

*1：魚類に対して被害のある種

*2：麻痺性貝毒の原因種



ウシロダ

セロウカ

①

シラハエ

宿毛湾中央

小筑紫中央

タテイシ

切田

②

③